

たい肥化促進材 新特別急酵®



株式会社メニコン・
トヨタ自動車株式会社による
共同開発

堆肥化の課題を解決したい

鶏・牛・豚の堆肥化促進材

「植物繊維分解酵素」と「高温菌の力」で
良質な堆肥作り。

新特別急酵は、食物繊維分解酵素と高温菌を組み合わせ、畜糞の好気性発酵での堆肥化を促進させる仕組みです。

悪臭低減、温度上昇、堆肥の減容の3つの効果で、畜産農家の皆様の作業環境改善をサポートします。

効果

※ 当社試験結果に基づく

腐熟度の高い良質な堆肥が得られます。

良質な堆肥づくりは「環境改善」「堆肥販売促進」につながります。

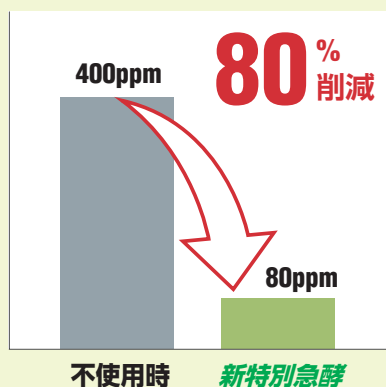
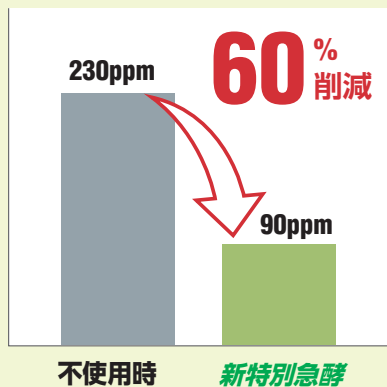


堆肥化時に発生する

アンモニア臭 / アミン臭を低減

● アンモニア臭（鼻をつく臭い）

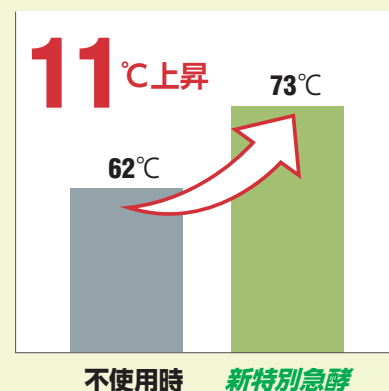
● アミン臭（腐った魚の臭い）



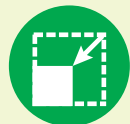
堆肥化中の温度を

70℃以上に維持

● 堆肥化温度



70℃以上の高温を保ち堆肥化する
るので、雑菌や虫卵、雑草種子が
死滅し安心です



堆肥の減容

2割以上の減容化

が図れることで、処理スペース
の確保とともに運搬コストも減ら
せます。



概況

採卵鶏

堆積→レーン



新特別急酵 / 導入実績
ホームページ

使用方法

「新特別急酵」は、畜糞に直接散布する資材です。
下記の使用量、および使用上のポイントに注意してお使いください。

使用量	約 10m ³ の畜糞に対して 1 袋を添加 (液体タイプの場合は、1 本をお持ちの設備に合わせて 5 ～ 100L 程度の水で希釈して使用)
堆肥化形式	堆肥化形式によらず、常に 10 m ³ に対して 1 袋を使用 (液体タイプの場合は 1 本)
堆肥化形式例	1. レーン式 (直線、エンドレス) 2. ピット式 3. 縦型コンポスト

使用上のポイント

新特別急酵は好気性発酵を助ける仕組みですので、以下の条件を満たす必要があります。

- ① 水分調整：含水率60%前後が目安 (手で握った時、塊状になるが水はしたたらない状態)
- ② ブロアでの通気：50～300ℓ/㎡/分 (中央畜産会：堆肥化設計マニュアル)
- ③ 攪拌・切返し：適時

実際の使用例 (粉末タイプの場合)

● ピット形式

- ① 搬出した畜糞10m³に対して、1袋の「新特別急酵」を散布
(生糞と副資材とを攪拌する際に、資材も同時に混合)



- ② ピット式発酵槽に投入して発酵処理
(生糞・副資材・「新特別急酵」をピット内で混合するケースもありますが、この場合でも何ら問題ありません)

● レーン形式

- ① 直線レーン・エンドスレーンともに、
発酵に適切な水分調整後レーン内へ糞を投入



- ② 上部に「新特別急酵」を散布して、攪拌装置にて混合
(散布量は、おおよその投入量10m³に対して1袋を散布)

商品ラインナップ



新特別急酵
通常品 7kg/袋



新特別急酵 Special
有機 JAS 規格別表 1 適合資材
8kg/袋



水希釈散布用商品
通常品 100g/袋



新特別急酵
ホームページ